

新年のご挨拶



一般社団法人日本エレベーター協会
会長 竹内 要司

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は当協会の活動に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も昨年同様、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、この一年間の日本経済は、企業の好業績、老朽設備の更新需要がある一方で、中国など海外経済の減速もあり、厳しい状況にあります。2017年消費税の増税前の需要、2020年東京オリンピック及びパラリンピックを見込んだ積極的な投資に期待したいと思います。

昇降機は、市民生活や企業活動に不可欠なライフラインであり、現在では、高齢化やバリアフリーといった側面からも重要な設備となっています。こうした状況から、安全、安心の取り組みに対する当協会への期待及びその責務は益々重くなっております。

2015年には、「安全で安心な昇降機」を最重要課題として、エレベーター用安全装置の3種類(調速機、非常止め装置、緩衝器)の日本工業規格(JIS)制定にむけ、原案作成委員会を発足し、JIS原案を作成しました。JIS原案は、一般財団法人日本規格協会の審査、WTOの意見受付等、2015年度末のJIS制定に向けて予定どおりに進捗しています。また、ISO/TC178の活動に参画し、ロープ式エレベーターの安全要求事項に関する国際規格(ISO)の推進計画が議決されました。昇降機の安全で安心な利用の周知活動としては、全国の都市交通事業者と協力し、エレベーターの日(11月10日)を中心にポスターの掲示、当協会会員によるポケットティッシュ等のキャンペーン品を配布したほか、年間を通して活動を展開しております。

2016年は、『安全で安心なエレベーター、エスカレーター』を実現するため、従来の活動に加え、定期検査制度等の法令改正に伴う「昇降機技術基準の解説」、「定期検査業務基準書」等の改訂と、その周知徹底に取り組んでまいります。また、国際標準化への対応として、ISO活動にも積極的に取り組んでまいります。

今後とも皆様方の一層のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

最後に、本年が皆様方にとりまして、実り多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。